

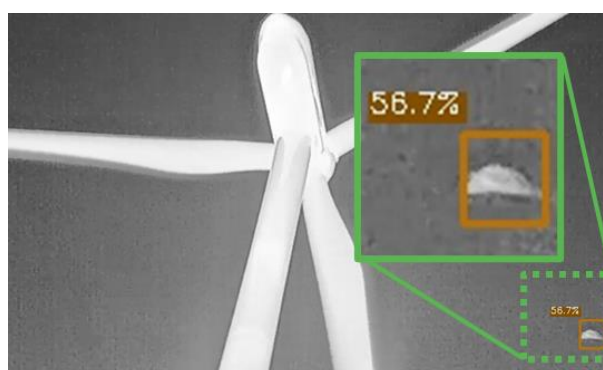
## 日本気象協会「秋田港・能代港洋上風力発電所」にて 「バードストライク検知システム」を用いた調査を開始

一般財団法人 日本気象協会（本社：東京都豊島区、理事長：長田 太、以下「日本気象協会」）は、秋田洋上風力発電株式会社（本社：秋田県能代市、代表取締役社長：岡垣 啓司）が運用する秋田港・能代港洋上風力発電所にて「バードストライク検知システム」を導入いただき、バードストライクの調査を開始しました。

### ■バードストライク検知システム

赤外線カメラで動画を撮影、AIによる飛翔体検知を行なうことで、風車近傍の鳥類の接近を監視・自動検知します。死骸調査が困難な洋上風力発電でバードストライク発生の有無を常時モニタリングします。

- ・日本気象協会が独自に開発
- ・24時間365日監視可能、夜間調査にも対応
- ・AIによる自動検知で、監視作業の効率化
- ・バードストライク発生を最短で翌営業日に報告
- ・AIによる再学習で精度向上が可能



AIが飛翔体を検知した例（他施設での実験）

### ■秋田港・能代港洋上風力発電所



風力発電機に設置された赤外線カメラ



調査対象の風力発電機



■本システムへのご質問や導入依頼等のお問い合わせ先

一般財団法人 日本気象協会 環境・エネルギー事業部 営業課

連絡先：東京都豊島区東池袋 3-1-1 サンシャイン 60 55 階

電話：03-5958-8142

Email：ke-eigyo\_kankyo@jwa.or.jp

■参考 URL

風力発電のバードストライク監視サービス「鳥類監視システム」

<https://www.jwa.or.jp/service/energy-management/assessment-04/>

日本気象協会「鳥類観測技術」で台湾の「洋上風力発電の鳥類事後調査業務」に参画  
～日本の鳥類の観測技術が海外のインフラ設備に 初採用～

<https://www.jwa.or.jp/news/2020/05/9872/>

日本気象協会、AI 鳥類識別システム「AI Bird」を開発

～AI を使ったオジロワシとオオワシを他の鳥類と見分ける技術にて 国内希少野生動物と風力発電事業の共存に貢献～

<https://www.jwa.or.jp/news/2021/01/12092/>

以上